

自民党の佐藤勉国会対策委員長は28日の党総務会で、戦争法案について「(参院に送付して)9月13日で60日を迎えることになる。準備作業を始めておきたい」と述べました。

戦争法案

参院が法案を採決しない場合、同14日以降は否決したとみなして衆院で再議決できる「60日ルール」が適用可能となるとして、その実行を示唆したものです。

戦争法案の参院審議は、28

60日ルール適用を示唆

自民国対委員長「準備始めたい」

日時点で約63時間で、衆院(110時間)の6割にも達していません。衆院では2回開かれた参考人質疑や、与党が採決の前提とする地方や中央での公聴会の開催のめども立っていません。衆院側では9月13日までの採決は困難との見方が強まっています。

これに関連し、二階俊博総務会長は記者会見で「強いて言えば心の準備をするということだ」と説明。党幹部は「60日ルールを使わなくてよいようにやってください」というメッセージだ」と述べています。